

坂うめじろう PR 大作戦！～坂町のステキを発信しよう～

本単元で育成する資質・能力

チャレンジする力 表現する力 協力・貢献する力

- 1 日時 令和5年 10月31日（火） 6校時
- 2 学年 第3学年1組 男子13名 女子11名 計24名（内 にじ1-1組 男子4名）
- 3 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、2年の生活科「どきどきわくわくまちたんけん」で、校区の公園や警察学校、町立図書館などの見学に行き、いろいろな発見をしたり、地域の人から話を聞いたりする活動をしてきた。それらを通して、自分たちの生活が地域の様々な人や場所と関わっていることを知り、その良さを感じることができた。

1学期の総合的な学習の時間では、校区を歩いて、海や山に囲まれた自然豊かな地域の特色に気付き、一人ずつまとめる学習をし、その良さを再発見することができた。また、坂町の花「梅」と鳥「メジロ」をシンボルとしてつくられた町のキャラクター「坂うめじろう」に愛着を感じている児童も多くいた。しかし、児童が感じている坂町の良さをより多くの人に広めたいという思いにはつながっていない。

総合的な学習の時間においては、意欲的に学習に取り組む児童が多い。情報を収集したり、調べたことをICTを活用しながらまとめたりすることに意欲をもっている。しかし、多面的に情報収集したり、それらを目的や伝える相手に応じて整理して、まとめたりすることは、十分にできない児童が多い。

(2) 単元観

本単元は、坂町のキャラクター「坂うめじろう」について、キャラクターが生まれた経緯を調べたり、キャラクターのPRに関わる人たちから話を聞いたりすることを通して、坂町の良さを広めたいという人々の思いに気付き、地域への愛着を深め、その良さを広めるために自分たちにできることを主体的、探究的に考え行動することを期待して設定した単元である。

令和5年4月にベイサイドビーチ坂に物販・飲食施設がオープンした。その看板商品の一つとして「坂うめじろうまんじゅう」が開発され、町の特産品として売り出される予定である。このまんじゅうのPRについて考え、活動することは、児童がより深く自分の郷土に対する愛着を深め、主体的に関わっていこうとする思いをもつことにつながると考える。

また、友だちや地域の人と関わり合いながら、探究的に学んでいく過程では、常に目的意識、相手意識をもつことができ、自分の意図に応じて整理・分析する中で考え、考えたことを表現する力を育てていくのにふさわしい題材であると言える。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、1学期に調べた「坂町のじまん～山・海～」の中で、児童から気になる存在としてクローズアップされた坂町のキャラクター「坂うめじろう」にさらに愛着をもてるよう交流の機会を設ける。そして、興味・関心が高まったところで、このキャラクターにこめられた願いを、開発に関わった人に話を聞いたり、調べ学習をしたりすることを通して、児童の、坂町のステキをもっと広めたいという思いにつなげる。

実行の段階では、町の新しい特産品として開発された「坂うめじろうまんじゅう」を坂町のステキとともに広く発信する提案を行う活動が展開されることを想定している。

さらに、児童がより主体的に探究できるようにするために、次の5点を意識して指導を行う。

- ① 課題設定の際に体験活動を重視し、自分事として課題を捉えられるようにする。
- ② 「坂うめじろう」や特産品開発に関わりのある地域の人と多く関わり、その願いを知る。
- ③ 多面的、多角的に情報を収集させる。
- ④ 集めた情報を、思考ツール等を活用して目的や意図に応じて整理し、表現させる。
- ⑤ 協働して課題を解決する良さを感じさせる。

これらの活動を通して、児童が地域の一員であることを自覚し、自分たちが愛着をもっている「坂うめじろう」や坂町のステキなところをより多くの人に広めていこうという思いにつなげたい。

4 単元目標

坂町のキャラクター、「坂うめじろう」に親しみ、どのように誕生し、そこに込められている願いは何なのかを知り、「坂うめじろう」と坂町の新しい特産品を広める活動を通して、ふるさとの特徴や良さ、それらを支えている人々の努力や工夫に気づき、見つけたステキをたくさんの人に発信しようとする。

5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①ふるさと坂町には、他に誇れる特色や良さがたくさんあることを理解している。 ②目的に応じた調査活動を適切に行っている。 ③地域の特色・良さについての理解は、探究的な学習の成果であることに気付いている。	①地域について調べたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。 ②必要な情報や手段を選択して多様に収集している。 ③課題解決に向けて、情報を整理・分析して考えている。 ④自分の考えや思いを、目的や相手に応じて分かりやすく表現している。	①課題解決に向け、自分の良さに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ②自分と違う意見や考えの良さを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ③地域との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。 ④ふるさと坂町について学習することを通し、坂町の一員としての愛着をもとうとしている。

6 他教科等との関連

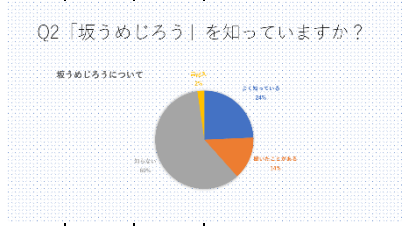
国語科	社会科	特別の教科道徳
「仕事のくふう、見つけたよ」 「ポスターを読もう」	「わたしのまち みんなのまち」 「はたらく人とわたしたちのくらし」	「ふるさといいとこさがし」

7 坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿

チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	<ul style="list-style-type: none"> 地域のキャラクターや新しい特産品について調べ、感じたことをもとに課題をつくる。 課題や自分で決めた目標に対して、粘り強くやり通そうとしている。
◎ 表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	<ul style="list-style-type: none"> 坂町のキャラクターや坂町の新しい特産品を広めていくために、自分が考えたことを、目的や相手に応じて、根拠を明確にして表現している。
協力・貢献する力 【役割】 【行動力】 【感謝】	<ul style="list-style-type: none"> 地域で親しまれているキャラクターと坂町の新しい特産品を広めていく活動を通し、地域の一員としての自分の役割に気づき、自分にできることを見付け、行動している。 学習を通して関わった人に、進んで感謝の気持ちを伝えている。

8 指導と評価の計画 (全 20 時間 本時 10/20 時間)

小単元名 (時間)	探究の過程	主な学習内容	知	思	態	評価規準及び 評価方法
坂うめじろうと坂町のステキをもっと知ろう(7)	課題発見 (1)	<p>Q 坂町のキャラクター「坂うめじろう」がつくられたのはなぜ？</p> <p>○ 1学期の学習のつながりから、坂町キャラクター「坂うめじろう」についてもっと知ろう、調べようという思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで検索すると、「ゆるキャラランキング」に入っていない。 ・「坂うめじろう」を知らない町外の人が多いというアンケート結果がある。→もっと広めたい。 ・「坂うめじろう」について自分たちもっと知りたい。 			①	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察
	課題の設定 (2)	<p>○ 「坂うめじろう」について調べる目的を確認し、課題を設定する。</p> <p>「坂うめじろう」をPRするために、「坂うめじろう」と坂町のステキをもっと知ろう。</p> <p>○ 課題を達成するために必要な活動を考え、計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「坂うめじろう」(うめじろうについて詳しい町の方)を学校に招いて、インタビューしよう。 ・「坂うめじろう」に質問したいことを考えよう。 		①		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察
	情報収集 整理分析 (2)	<p>○ 「坂うめじろう」の着ぐるみをゲストティーチャーに招いて情報を収集する。(うめじろうについて詳しい町の方に質問の答えをいただしておく。)</p> <p>実際には、「坂うめじろうへの質問」を事前に話し合っ決めて、町役場の担当の方から事前に回答をいただいていた。それを、インタビュー会で担当が通訳するという形で答えていった。</p> <p>○ 集めた情報を整理したり、交流したりしながら、「坂うめじろう」を通して、坂町のステキをどんな方法でPRしていけばよいか考える。</p>	②		④	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察
	まとめ・表現 (2)	○ 「坂うめじろう」や坂町のステキについて調べたことや分かったこと、考えたことを新聞にまとめる。	①	④		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート



「坂うめじろう」と坂町のステキを発信しよう(13)

課題の設定
情報の収集
(2)

Q 坂うめじろうの魅力を発信するためにはどんな方法があるだろう？
○町の新たな特産品として、「坂うめじろう」をイメージしたおまんじゅうが開発中であることを知る。

「坂うめじろうまんじゅう」をPRしていくために、自分たちにできることを考えよう。

- 「坂うめじろうまんじゅう」の開発にかかわる方(坂町役場 梶谷さん)をゲストティーチャーに招いて話を聞く。
- たくさんの人に新しい特産品を知ってもらい、坂町のシンボル「坂うめじろう」にこめられた願いを知ってもらいたいという思いをもつ。

②

③

- ・ワークシート
- ・行動観察



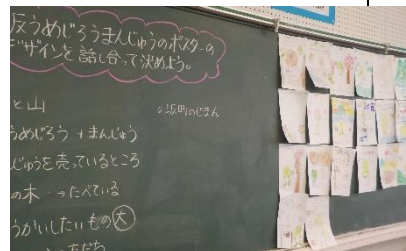
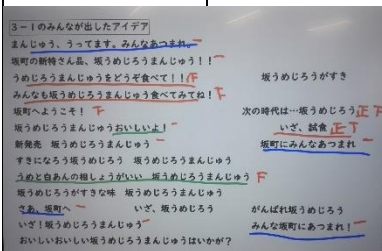
整理分析
まとめ・表現
(9)

- 「坂うめじろうまんじゅう」の開発者の方からの、まんじゅうのPRの依頼を受けて、自分たちにできることを考える。**【本時】**
(仮)・「坂うめじろうまんじゅう」をPRするポスターを作ろう。
・坂町の魅力を発信するためにどんなポスターを作ったらいいかな。
- 実践するアイデアを確認し、グループごとに「坂うめじろうまんじゅう」を広めるポスター作りを展開する。

③

②

- ・ワークシート
- ・行動観察
- ・発話分析



【ICT活用】

オクリンクを使い、一人一人の考えたポスターデザインを交流し、アイデアをまとめていった。

振り返り
(2)

○これまでの体験や経験から学んだことを振り返り、自己の成長について考える。

- ・「坂うめじろうまんじゅう」は、坂町の人々の思いや願いによって開発されたものである。これからも、まだ知らない人に伝えていきたい。
- ・自分たちでアイデアを出し合って、工夫して「坂うめじろう」をPRすることができた。

③

④

- ・ワークシート



9 ルーブリック（評価基準）


	評価基準
Ⅲ	「坂うめじろう」や坂町の新しい特産品を広めていくために自分たちにできることを、これまでの調査活動で得た情報と関連付けながら、根拠を明確にして考えている。
Ⅱ	「坂うめじろう」や坂町の新しい特産品を広めていくために自分たちにできることを、根拠を明確にして考えている。
Ⅰ	「坂うめじろう」や坂町の新しい特産品を広めていくために自分たちにできることを考えている。

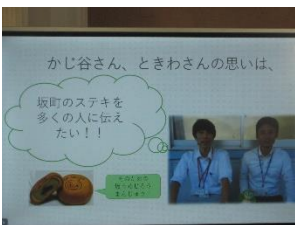
10 本時の学習

(1) 本時の目標

坂町の新しい特産品「坂うめじろうまんじゅう」を多くの人に知ってもらい、手に取ってもらうために、自分たちにできることを根拠を明確にして話し合ってみよう。

(2) 本時の展開

学びのサイクル	学習活動	指導上の留意事項 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>☑ しゃってみよう</p>	<p>1 前時の学習の振り返りを行う。</p> <p>2 本時のめあてを確認する</p>	<p>○前時の学習について振り返ることで本時のめあて設定への見通しがもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂町では新しい特産品「坂うめじろうまんじゅう」を開発している。 「坂うめじろうまんじゅう」を開発するために多くの人の努力があり、たくさんの人に広めたいという思いをもっている。 <p>○開発担当者・梶谷さんからの、「坂うめじろうまんじゅう」を多くの人に知ってもらうためのポスター作りを提案する動画を視聴する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ICT 活用①】 前時の授業の足跡や梶谷さんの動画を電子黒板に映し出して振り返りの助けとする。</p> </div>	<p>評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)</p> 
	<p>「坂うめじろうまんじゅう」をPRするポスターとして、どんなものを作ったら良いか話し合ってみよう。</p>		
<p>☐ うかってみよう</p>	<p>3 活動の見通しをもつ。</p>	<p>○これまでの調査活動について振り返り、話合いの目的を確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂町の良さを知ってほしい。 たくさんの人に知ってもらいたい。 「坂うめじろうまんじゅう」をたくさんの人に食べてもらいたい。 坂町に買いに来てもらいたい。 <p>→そのためにどんな内容のポスターにするか、紹介したい坂町の魅力をもとにして考えよう。</p>	

は つ き り 表 そ う	4 個人で考えた後、グループで共有する。	<p>○ポスターに表したいことは何かを、ワークシートを使って、意見の根拠を明確にしながらかえさせる。</p> <p>○「ランキング表」を使ってグループの意見を整理させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターのデザインとして、坂町のじまんの海や山の景色を入れよう。 ・キャッチフレーズには坂町のじまんである自然についての言葉を入れよう。 <p>◆ 考えが浮かばず話し合いに参加できない児童に対し、友だちの意見の中からいいなと思うものについて同意を示すことを伝える。</p>	★「坂うめじろうまんじゅう」を広めるために自分たちにできることを、根拠を明確にして考えている。 (ワークシート・発話分析)
	5 全体で交流する。	<p>○グループで出した意見を交流する。</p> <p>○出した意見を全体で分類・整理していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのグループではポスターのデザインに表すものを、3位 小鳥や花、2位 山、1位 海の景色にしました。理由は坂町のじまんなはきれいな海だし、おまんじゅうをベイサイドビーチ坂で売る予定だからです。 <p>○「坂町の魅力を発信する」という目的が達成できる取組になっているか考える。</p> <div data-bbox="534 985 1109 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用②】 梶谷さんの話の中のキーワードを電子黒板で示し、児童の考えの根拠の手がかりとなるようにする。</p> </div>	
ま と め よ う ・ ふ り か え そ う	6 本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターのデザインに、坂町のじまんの海の景色を入れることは、坂町のことをよく知らない人にその良さを伝えていくことができるからいいと思う。 ・もっとおまんじゅうの味のことを伝えたほうが、おまんじゅうのおいしさを分かってもらえると思う。 	
	7 振り返りをする。		
		<div data-bbox="255 1422 1332 1523" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「坂うめじろうまんじゅう」をPRするポスターは、味だけでなく、坂町のステキを伝える内容にするとよい。</p> </div> <div data-bbox="255 1612 1332 1881" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【振り返り例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに理由を付けて発表できた。 ・「坂うめじろうまんじゅう」をPRするために、どんなポスターにするかグループで話し合うことができた。 ・これからもっと詳しく考えて、「坂うめじろうまんじゅう」のことをたくさんの人に知ってもらいたい。 </div>	
	8 次時の学習内容について見通しをもつ。	○次時は、今日話し合ったことを基に、具体的に活動計画を立てていくことを伝える。	

11 準備物

電子黒板 ワークシート それぞれのグループの資料

12 板書計画

10/31 「坂うめじろう」PR 大作戦！～坂町のステキを発信しよう～

①め

「坂うめじろうまんじゅう」をPRするポスターとして、どんなものを作ったら良いか話し合ってみよう。

食べてほしい！



伝えたい！

坂うめじろうまんじゅう

坂町のよさを
知ってほしい！

うめじろうのことを
知ってほしい！

ポスターに入れる内容

デザイン

キャッチフレーズ

坂うめじろう

うめじろうも大好き
うめじろうまんじゅう

海の絵

町のじまん・梅の味

山の絵

うめとメジロ

おいしく食べて、
楽しく歩こう

①ま

「坂うめじろうまんじゅう」をPRするポスターは、味だけでなく、坂町のステキを伝える内容にするとよい。

本時の板書

